

令和5 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日

令和6年3月25日

法人名

園名

社会福祉法人照治福祉会

摂津峡認定こども園

まとめ

全体平均

4.36

第2章第2節 乳児期の園児の保育	安全安心を保障ながら、育児担当制保育を通して、愛着関係をベースに子どもの気持ちに寄り添いながら、丁寧な保育を心がけ、子どもとの応答的關係を通して、満足感や自己肯定感、意欲を引き出している。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	日課をもとに日々生活していくことで、見通しを持って活動できるようにしている。「子どもに寄り添うために」のマニュアルをもとに子どもが迷わないように、どの保育教諭が関わっても同じ手順で援助できるようにしている。各年齢個々の発達を理解し、適切な援助ができるよう保育教諭間で連携を図っている。子どもと関わっていく上で子ども理解について、保育教諭の質の底上げをしていく必要があると感じる。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	コーナー保育など担当を決め、月案をもとに計画を立てて、見通しを持って保育している。毎日作成するドキュメントでは、10の姿をの項目を意識しながら、偏りなく教育、保育を進めている。コーナー保育の環境づくりには課題も残り、専門職としての知識、技能を身に付けていく努力を要する。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	子ども一人ひとりの家庭の事情や発達に配慮して保育を行っている。育児行為などの誘いも個々に寄り添いながら行っている。子育て支援についても朝夕の送迎時には、必ず声を掛け、一日の様子を言葉で伝えたり、園での様子から、心配なこと配慮していることなども保護者との関係性を大切にしながら、進めている。
第3章 健康及び安全	会議などで保育教諭、看護師、栄養士等お互いに専門的な意見を交えながら、連携し進め、子どもたちを見守っている。災害時に備えての避難訓練は、子どもたちにも浸透してきてスムーズに行われている。未曾有の災害に備えてBCP計画も各分野の専門職と一緒に見直し、計画の策定中。
第4章 子育ての支援	在園児については、子どもの様子や保護者の様子を見ながら、声を掛けたり、話を聞いたりしている。地域の方とは、園庭開放、ベビーママプレママ、わくキラなど間口を広げて関わっていくよう努力はしているがまだ、十分ではない。地域のニーズを知りそれに沿った活動に取り組んでいけるよう考えていきたい。
第5章 職員の資質向上	園内研修については質の向上のためにどのようなことを学びたいのか、職員発信を重視し副主幹を中心に計画をすすめた。園内の公開保育やわらべ歌を実施し、実践につなげることが出来た。また、配慮を必要とする子どもへの対応について保育者が悩んだり困惑している姿があり、公認心理師を招き、子どもの行動や行為について指導助言をいただき、実践につなげた。
総合	ダムウェーターの設置や図書コーナーの移設、園舎の大規模修繕を終え、5月には園児・保護者・地域のみなさんを迎え「10周年みんなあつまれ！」を開催し創立10周年事業を終えた。乳児においては園内での公開保育を数回おこない、各クラスから職員が参加した。保育の内容や担当保育士の行為や考えに対し質問をしたり認め合ったりしてお互いに保育の内容を確認し質の向上に努めた。また幼児クラスにおいては「こどもの日」を初め行事の見直しを行った。各行事のねらいを共有したうえで、子どもにとってどのようにあるべきかを話し合い教育・保育内容の充実にも努めた。地域の子育て支援については福祉委員さんと共に子育て広場を実施するとともに地域貢献に努めたが、当園が主催する子育て支援については課題が残った。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.56
「3歳未満児保育」	32	4.22
「3歳以上児保育」	52	4.27
「教育保育の配慮事項」	16	4.56
「健康・安全」	29	4.52
「子育ての支援」	18	4.39
「職員の資質向上」	9	4.22
計	171	4.36

データグラフ

